

資料 1

発達障がい者支援センター 事業実施状況について

(令和3年度12月末)

資料 1-1

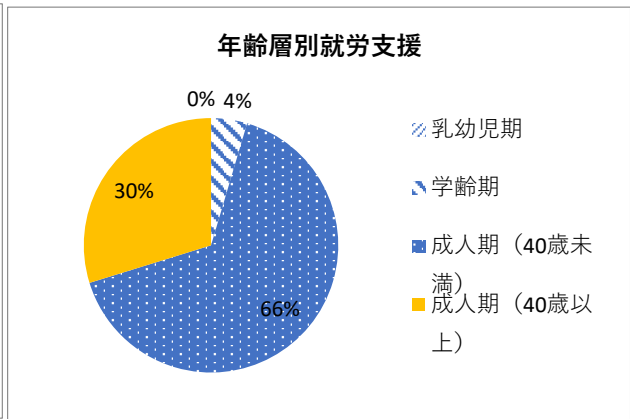
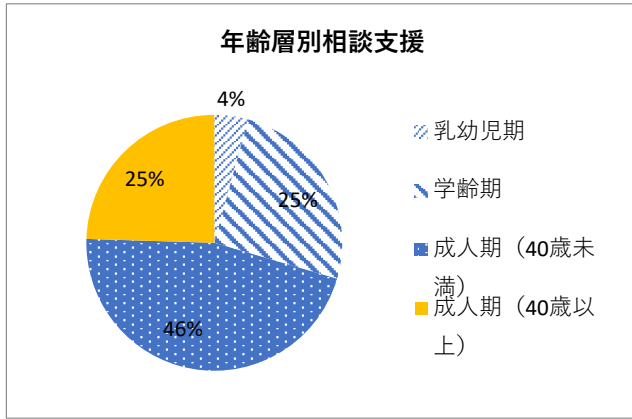
令和3年4月～12月発達障がい者支援センター事業実施状況

資料 1-2

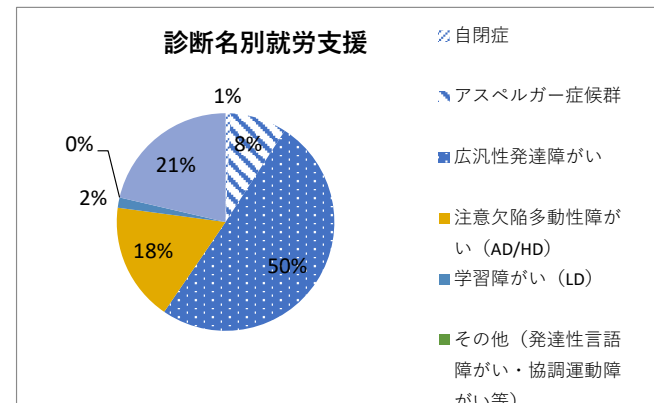
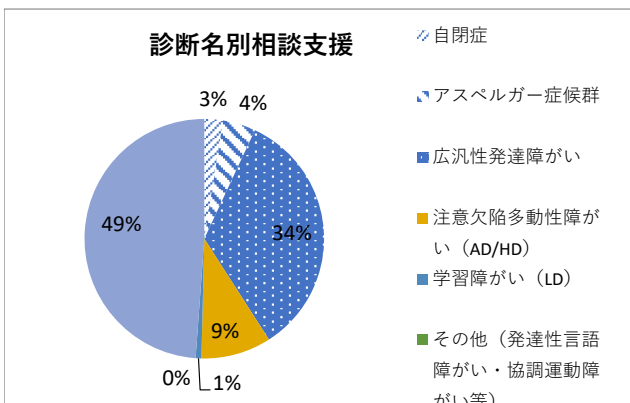
発達障がい者支援センター（エルムおおさか）による地域サポート体制の強化（令和3年4月～12月）

<相談件数（実支援人数）>

1-1 年齢別	相談・発達	就労	小計
乳幼児期	22	0	22
学齢期	131	6	137
成人期（40歳未満）	238	86	324
成人期（40歳以上）	127	39	166
合計	518	131	649



1-2 診断別	相談・発達	就労	小計
自閉症	13	1	14
アスペルガー症候群	23	11	34
広汎性発達障がい	176	66	242
注意欠陥多動性障がい（AD/HD）	49	23	72
学習障がい（LD）	4	2	6
その他（発達性言語障がい・協調運動障がい等）	0	0	0
不明（未診断を含む）	253	28	281
合計	518	131	649



2 個別支援：調整会議（のべ件数）

※「相談・発達・就労支援」に伴うケース本人も含めた会議

相談・発達	就労	計
91	76	167

3 個別支援：機関コンサルテーション（のべ件数）

※「相談・発達・就労支援」に基づく施設への助言、支援者のみの会議

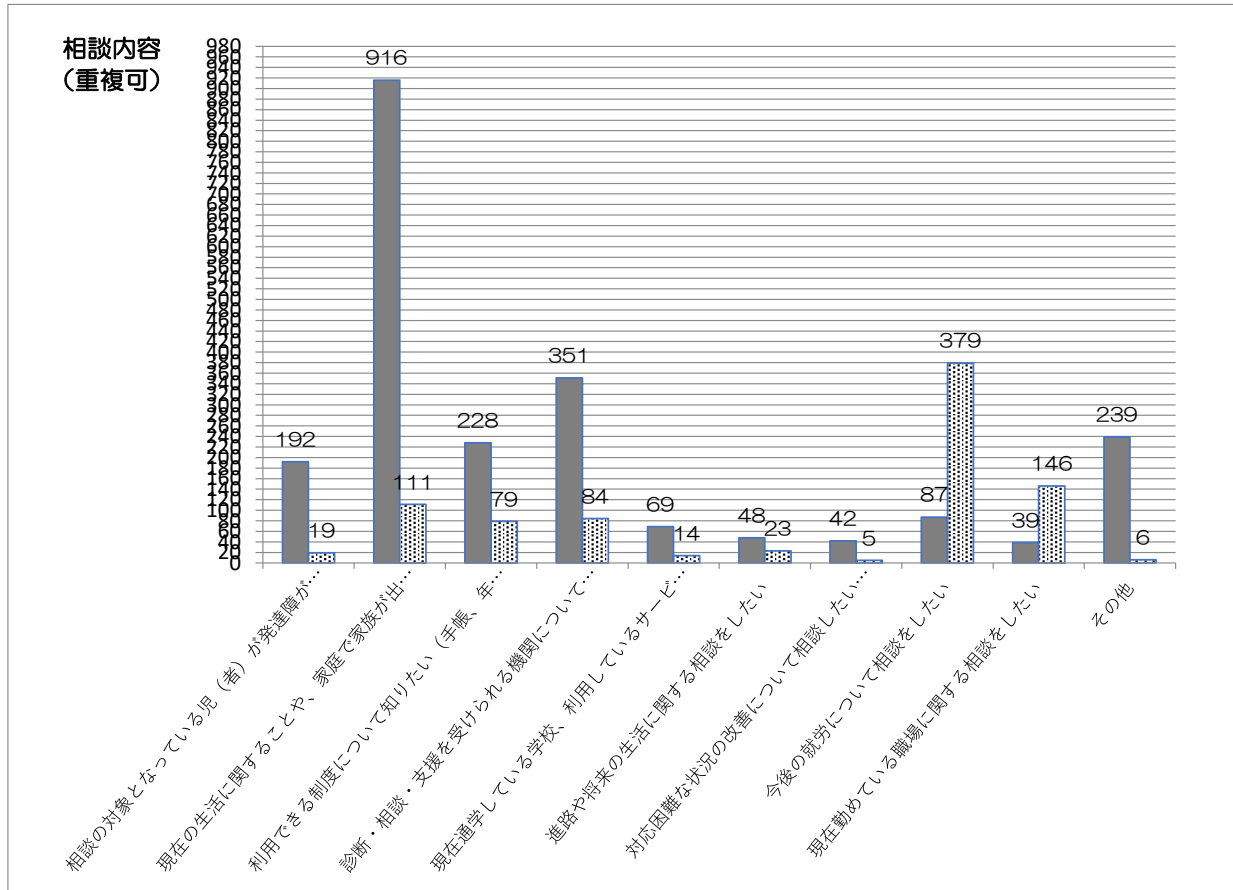
相談・発達	就労	計
11	6	17

4 相談内容（重複選択可）

相談・発達

就労

相談の対象となっている児（者）が発達障がいを知りたい	192	19
現在の生活に関することや、家庭で家族が出来ることを知りたい	916	111
利用できる制度について知りたい（手帳、年金、手当、障がい福祉サービスなど）	228	79
診断・相談・支援を受けられる機関について知りたい	351	84
現在通学している学校、利用しているサービス等に関する相談をしたい	69	14
進路や将来の生活に関する相談をしたい	48	23
対応困難な状況の改善について相談したい（強度行動障がい、ひきこもりなど）	42	5
今後の就労について相談をしたい	87	379
現在勤めている職場に関する相談をしたい	39	146
その他	239	6
合計	2211	866



5 機関支援

86回実施（令和3年4月～12月）

実訪問か所 39か所

6 研修・啓発

参加総数 1756名

		実施回数
主催研修会	PT公開講座・放課後デイ基礎講座、成人期基礎講座、LD講座	21
主催連続講座	ペアレントトレーニング、ASD、スキルアップ、からだ講座等	97
共催講座	成人期当事者GW、大学生就職準備支援、子育て支援セミナー	4
講師派遣	出前研修、啓発研修等	12
計		134

7 発達ノート発行数

令和3年4月～12月（124冊）	累計	2710冊
------------------	----	-------

・コロナの感染状況が終息していない為、機関コンサルテーション、主催講座や研修等、昨年と変わらない件数に落ち着いている。 ・個別相談は、件数自体は昨年度より増え、一昨年度と変わらない件数となった。内容は、現在の生活に関する事や利用できる制度、就労について等の相談が増えており、コロナ禍の影響を受けていると考えている。診断名別や年齢層による相談件数の割合は、昨年と変わりなく、一定落ち着いてきたものと思われる。

・機関支援は、コロナ禍により、件数は大幅に減少している。

・啓発研修は、児童発達支援/放デイ向けと成人支援事業所向けの集合研修を基礎編と実践編に分け、基礎編を合同でオンラインで実施、実践編は、成人支援事業所向けを集合研修、児童発達支援/放デイ向けをオンラインで実施した。オンラインでの実施を望む事業所も多く、次年度についても同様の開催となる事も考えられる。ペアレントトレーニングは、コロナ禍の影響もあり、定員に達せずに実施出来なかったクールや参加途中で受講をやめられたケースもあった。定員に達しない原因については、区主催で行われているトレーニングもあり、ペアレントトレーニングの手法を広めるという当初の目的は、一定達成出来たのではないかと考えている。ティーチャートレーニングは、1クール増やして開催したが、希望者全員の参加は出来なかった。

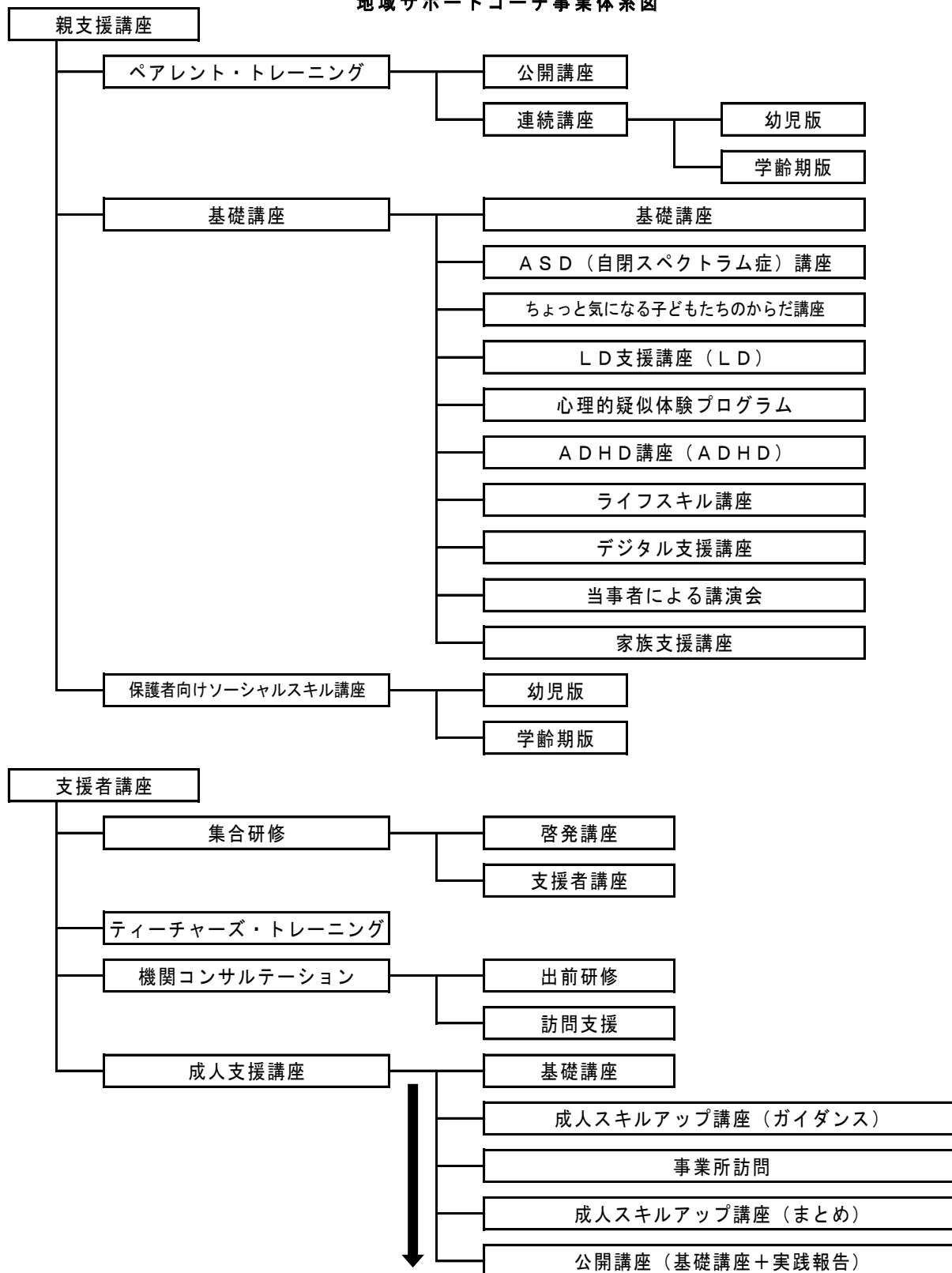
・「ここらからのWS」「発達障がいがある学生等の就労準備支援事業」は、例年同様、大阪市職業リハビリテーションセンターや就労移行支援事業所であるサテライト・オフィス平野に協力いただいて、随時開催中である。

発達障がい者支援センター（エルムおおさか）による地域サポート体制の強化
（令和3年4月～令和3年12月）

事業概要

地域サポートコーチ配置し、地域の関係機関・事業所等への啓発・研修・支援、ペアレント・トレーニング等の親支援を実施。

地域サポートコーチ事業体系図



【 取 組 状 況 】

親 支 援 講 座

【1】ペアレント・トレーニング

児童の特性や行動を理解し、親自身が児童にとっての「最良の療育者」となり自尊心を高めることができるよう、行動療法に基づく効果的な対応法を学び、話し合い、練習する。

(1) ペアレント・トレーニング公開講座

発達障がいのある児童の特性や対応方法を解説し、特性に応じた対応の重要性を啓発するとともに、ペアレント・トレーニングの目的、概要、実践、効果を紹介することでペアレント・トレーニングの受講を促す。

対象：幼児期・学齢期の保護者・支援者

講師：今村 佐智子先生（一般社団法人 発達支援ルームまなび 理事）

定員：50名

★実施済（3回）

日程	会場	参加者数		
		保護者	支援者	計
6/29	J E C日本研修センター心斎橋	26	23	49
8/27	阿倍野市民学習センター	20	18	38
11/26	C I V I北梅田研修センター	25	12	37
計		71	53	124

★実践報告会アンケート結果（回収率97%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	65
わかりやすかった	43
難しかった	3
かなり難しかった	0
無回答	10
計	121

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	63
参考になった	52
あまり参考にならなかった	2
全く参考にならなかった	0
無回答	4
計	121

【感想・意見】

・今後、子どもと接していくのに何を注意したら、気を付けたら良いのか、分からなかったが道が開けたような気がした。

・問題行動＝親（大人）の目線ということに、わかっているようでわかっていなかったなど改めて気づかされました。ADHDがあるので怒ってしまう（周囲の目を気にして、怒らないといけないと思っていた部分もある）ことが多かったので、褒めることを増やせるよう、意識したいと思います。

・わかりやすい言葉で、具体的にお話ただけて、理解が深まりました。参加できて良かったです。

(2) ペアレント・トレーニング実践報告会

ペアレント・トレーニング連続講座の成果をはじめ、ペアレント・トレーニングの内容、意義について広く知っていただくことを目的として実施。

対象：幼児期・学齢期の保護者・支援者

講師：今村 佐智子先生（一般社団法人 発達支援ルームまなび 理事）

定員：80名

★実施予定（1回）

日程	会場
3/1	A P大阪淀屋橋

(3) ペアレント・トレーニング連続講座

行動療法に基づく効果的な対応方法を身につけ、児童の適応行動を増やす。計画表に沿ってテーマを決めて学習・話し合い・練習を行い、ホームワークを自宅で実践する。

対象：幼児期・学齢期の保護者

定員：8名

★実施済・実施中・実施予定（幼児：6回×5クール、学齢：10回×5クール 9回×1クール 計89回）

対象	期間	会場	参加者数		
			保護者	支援者	計
幼児	6/4～8/6	大阪府社会福祉会館	8		8
	6/2～8/4	ドーンセンター	8		8
	9/3～11/12	此花区民ホール	中止		-
	9/21～11/30	中央会館	7		7
	1/11～3/22	クレオ大阪子育て館（共催）	5		5
	1/13～3/17	アンビション貸会議室	6		6
学齢	6/15～11/16	早川福祉会館	8		8
	6/3～10/28	大阪産業創造館	8		8
	9/1～1/12	ドーンセンター	6		6
	10/25～3/14	自習室うめだ	7		7
	10/27～3/16	難波市民学習センター	4		4
	11/4～3/10	JEC日本研修センター心斎橋	4		4

※中止した此花区民ホールの幼児グループは申込少数だったため、実施できなかった。

(4) ペアレント・トレーニング フォローアップ講座

ペアレント・トレーニング連続講座を受講された保護者を対象に、講座終了後ある程度の期間が経過した段階で、ご家庭での取り組みや、課題等について再整理・共有し、今後のお子さんへのかかわり方の一助とする目的で開催する。（2020年度も含む実施済の講座のフォローアップ）

★現時点での実施済（5回）

対象	日程	参加者数
		保護者
幼児	10/29	2
	11/17	2
学齢	7/5	4
	7/8	2
	7/14	1
計		11

★現時点での実施予定（4回）

対象	日程
幼児	2/22
学齢	2/1
	2/3
	3/16

【2】基礎講座**(1) 基礎講座**

発達障がいの診断を受けたばかりの保護者やグレーゾーンの保護者を対象に、発達障がいの基礎的な知識と支援についての講演を実施します。プラスでは、より具体的な支援方法についての講座を実施します。

対象：幼児期・学齢期の保護者

講師：地域サポートコーチ

定員：各回50名

★実施済（3回）

内容	日程	会場	参加者数
発達障がい理解と支援 （基礎）	7/9	武藤記念ホール	39
発達障がい理解と支援 （プラス）	9/24	大阪私学会館	15
発達障がい理解と支援 （基礎）	12/7	大阪産業創造館	13
計			67

★基礎講座アンケート結果（回収率95%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	47
わかりやすかった	13
難しかった	0
かなり難しかった	0
無回答	4
計	64

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	44
参考になった	17
あまり参考にならなかった	1
全く参考にならなかった	1
無回答	1
計	64

【感想・意見】

- ・今回、講座に参加して色々勉強になりました。これからどんどん参加して、前向きに子どもを育てていこうと思いました。
- ・知る、工夫する、整えることの大切さを改めて勉強させていただきました。また講習会を受けて、情報を取り入れたいと思います。実際のグッズ展示は初めてで、色々実際に手に取って見ることができて、早速ネットで調べて、必要なものは購入検討したいと思いました。
- ・具体的なエピソードも聞けて、なるほどなと思えた。自分の子どもの行動に注意を向ける視点が知れて良かった。

★実施予定（1回）

内容	日程	会場
発達障がい理解と支援 （プラス）	3/18	大阪私学会館

（2）ASD（自閉スペクトラム症）講座

お子さんの理解と支援をテーマに、ASDの子どもたちの物事の捉え方や親子で暮らしやすい見える化（環境調整）の例について講演を実施します。

対象：幼児期・学齢期の保護者・支援者
 講師：井上 芳子（エルムおおさか センター長）
 定員：各回30名

★実施予定（2回×1クール 計2回）

内容	日程	会場
わかりやすい環境づくり	2/2	日本研修センター 十三
気になる行動の考え方	2/9	

（3）ちょっと気になる子どもたちのからだ講座

乳幼児期に獲得される感覚-運動能力の視点から、身体の使い方が不器用で、集団生活が苦手な子どもたちの特徴と支援について講演を実施する。

対象：幼児期・学齢期の保護者・支援者
 講師：有吉 正則先生（兵庫医療大学 准教授 作業療法士）
 定員：各回30名

★実施済（2回×1クール 計2回）

内容	日程	会場	参加者数		
			保護者	支援者	計
感覚と運動発達の視点から	9/14	大阪私学会館	6	26	32
身体と手先の動きを育てよう	10/6		5	24	29
計			11	50	61

★からだ講座アンケート結果（回収率100%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	44
わかりやすかった	15
難しかった	1
かなり難しかった	0
無回答	1
計	61

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	51
参考になった	9
あまり参考にならなかった	0
全く参考にならなかった	0
無回答	1
計	61

【感想・意見】

・神経・身体の発達が生活の基盤の重要性につながるものが良く分かりました。子どもの行動で思い当たる点もよくあり、勉強になりました。

・「スキンシップは主観的な感覚で」の講義がとても興味深かった。ペンを例に、触れる場所が変わると意識の向く先が違って面白かった。子どもが不安になったりした時、このようなスキンシップを取り入れたいと思う。

・運動発達の順番を知ることで、どの段階につまずきがあるのか見るポイントを学ぶことができ、観察場面で活かそうです。まず、自分が練習法を体験して、子どもが楽しく参加できるようにしていきたいと思えます。

(4) ことばの指導・読み書き・計算・聞く話す（LD）

学習のつまずきや宿題への対応など、幼児期学齢期の特性に応じた支援や指導方法のポイントについて、講演を実施する。

対象：幼児期・学齢期の保護者・支援者

講師：西岡 有香先生（大阪医科薬科大学LDセンター 言語聴覚士 特別支援教育士SV）

定員：各回30名

★実施済（4回）

内容	日程	会場	参加者数		
			保護者	支援者	計
基礎的な読み書きの力を育てる	6/21	コンファレンスプラザ 大阪御堂筋	11	21	32
聞く力・話す力の理解と指導へのヒント	9/6	JEC日本研修センター 十三	6	14	20
豊かなことばを育むために	9/16	JEC日本研修センター 心齋橋	5	22	27
読み書きの力を育てる ～高学年での課題と学習支援～	12/20	AP大阪淀屋橋	5	9	14
計			27	66	93

★LD講座アンケート結果（回収率98%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	61
わかりやすかった	24
難しかった	2
かなり難しかった	0
無回答	5
計	92

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	62
参考になった	26
あまり参考にならなかった	0
全く参考にならなかった	0
無回答	4
計	92

【感想・意見】

- ・とても参考になりました。状況だけが目につき、どこにつまずきがあるのかさえ全く見えていなかったの
で、少し客観的に考える事ができそうです。
- ・具体的なお話はもちろんのこと、何が大切か、子どもの意欲についてなどのお話がとても為になりました。
- ・「できない」の原因と対処法、とても勉強になりました。嫌いにならないように意欲を保つ、タブレット
等の使用も参考になります。

★実施予定（1回）

内容	日程	会場
算数でつまづく子どもの 理解と指導へのヒント	2/21	大阪府社会福祉会館

（5）心理的疑似体験プログラム

お子さんが抱える困難と、その困難を持ちながら通常学級で学習する時の子どもの気持を体験し、その理由を考えた上で、どのような指導が役に立つのか、考えていく。

対象：小学生の保護者

講師：西岡 有香先生（大阪医科薬科大学LDセンター 言語聴覚士 特別支援教育士SV）

定員：20名

★実施予定（1回）

内容	日程	会場
『LD・ADHD等の心理的疑似体験 プログラム第3版』で学習時 の「聞く・話す・読む・書 く」の苦手さを理解しよう	1/24	大阪私学会館

（6）ADHD講座（ADHD）

ADHDの診断を受けた児童には、身辺自立の苦手さは少ない一方で、急に道に飛び出す、食事中に何度も席を離れるなどの、より注意を要する問題行動が多くみられる。支援者や保護者は強いストレスを感じがちだが、最も困っているのは本人であり、児童によっては自閉症スペクトラム障がいや学習障がいを同時にもっている場合があり、児童の状態に応じた支援が必要となる。本講座では、ADHDの理解を深めていただくために、ADHDの基本的知識や関わり方などのポイントについて、講義をうけ、学習する。

1. ADHDスポット講座

対象：保護者・支援者・当事者

講師：高山 恵子先生（NPO法人 えじそんくらぶ所長 臨床心理士 薬剤師）

定員：80名

★実施済（1回）

内容	日程	会場	参加者数		
			保護者	支援者	計
ADHDのある方の 特徴と支援	12/14	CIVI研修センター 新大阪東	22	14	36

★ADHDスポット講座アンケート結果（回収率97%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	23
わかりやすかった	11
難しかった	1
かなり難しかった	0
無回答	0
計	35

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	27
参考になった	6
あまり参考にならなかった	1
全く参考にならなかった	0
無回答	1
計	35

【感想・意見】

・子どもを責めたことはないが、何をしてあげられたら良いのかわからなかったもので、今日は気持ちが楽になりました。

・夫と来ました。自分で伝えると問題が起きたり（口論）、上手く伝えられなくてお互い困っていましたが、私が知ってほしいことがたくさんあり、夫もメモを取ってくれていたのととても救われました。わかりやすくお話ししていただき、ありがとうございました。

・キーワード（心理教育・神経心理ピラミッド）に関しては初めて聞く内容だったので、とても関心を持ちました。ぜひ高山先生の著書も読んで学びを深めたいと思いました。

2. 学齢期のADHD講座

対象：幼児期・学齢期の保護者・支援者

講師：河口 剛先生（医療法人サヂカム会 三国丘病院 院長）

定員：50名

★実施済（1回）

内容	日程	会場	参加者数		
			保護者	支援者	計
児童・思春期のADHD	10/21	大阪私学会館	27	34	61

★学齢期のADHD講座アンケート結果（回収率100%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	45
わかりやすかった	12
難しかった	2
かなり難しかった	0
無回答	2
計	61

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	48
参考になった	12
あまり参考にならなかった	0
全く参考にならなかった	0
無回答	1
計	61

【感想・意見】

・先生の二次障害を発症させないためにということばに親としてのこれまでのやってきたこと、違うかったのか…ちゃんと見ていなかったと反省です。療育機関で支えていただきましたが、家庭、母との関わりの重要性を改めて思いました。

・病院で実際に診断や療育されている先生だったのでとてもわかりやすかったです。実際に患者さんを診ている専門家が行う講座がまたあれば嬉しいです。

・子どもはADHDとASDの特性を持っているので、2つの比較表（似て非なる点）がとても参考になり、ASDの話もたくさん聞いて勉強になりました。先生が診察された患者さんの話も、とても参考になりました。

（7）保護者向けライフスキル講座

発達障がいのお子さんが身に付けておくと良い、ライフスキルについて講演を実施する。

対象：幼児・学齢期の保護者

講師：本田 秀夫先生（信州大学医学部附属病院 子どものこころ診療部 部長）

定員：80名

★実施予定（1回）

内容	日程	会場
保護者向けライフスキル講座	2/23	C I V I 研修センター 新大阪東

（8）デジタル支援講座

お子さんがSNSやインターネットと付き合うために、保護者が知らなければいけないネットリテラシー等について講演を実施する。

対象：幼児・学齢期の保護者・支援者

講師：西川 めぐみ先生（NTTドコモ スマホ・ケータイ安全教室インストラクター）

定員：80名

★実施済（1回）

内容	日程	会場	参加者数		
			保護者	支援者	計
スマホ・ケータイ安全教室	8/5	J E C 日本研修センター 心斎橋	8	12	20

★デジタル支援講座アンケート結果（回収率95%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	13
わかりやすかった	5
難しかった	0
かなり難しかった	0
無回答	1
計	19

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	11
参考になった	7
あまり参考にならなかった	0
全く参考にならなかった	0
無回答	1
計	19

【感想・意見】

- ・子どもたちのまわりにネットにつながるものがあふれていて、家の中でも外でも守ってあげることがすごく難しく困っていた時に、この教室のことを知って参加しました。すごく勉強になりました。
- ・ただただスマホをできるだけ持たせないように考えていましたが、様々なところに危険があることを親も勉強になる点がたくさんありました。
- ・スマホを使ったトラブルの詳しい事例があったり、どんな理由でトラブルに発展してしまうかを教えてもらえ、子どもや保護者の方に伝えやすいなと思いました。ルールを作るポイントも分かりやすかったです。今後子どもや保護者の方に伝えていくうえで非常に参考になりました。

（9）当事者・家族による講演会（体験談等）

発達障がいの当事者やその家族による体験談などを交えた講演会。

1. 当事者家族による講演会

対象：当事者・保護者・支援者

講師：笹森 史朗氏

定員：80名

★実施済（1回）

内容	日程	会場	参加者数		
			保護者	支援者	計
違っているからおもしろい	11/20	大阪私学会館	32	20	52

★当事者家族による講演会アンケート結果（回収率96%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	18
わかりやすかった	27
難しかった	1
かなり難しかった	0
無回答	4
計	50

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	25
参考になった	22
あまり参考にならなかった	1
全く参考にならなかった	0
無回答	2
計	50

【感想・意見】

・すごく具体的にお話くださったので、とても参考になりました。やはり家庭が子どもの居場所なのだのと改めて思いました。不登校のお話が、大きくなった頃の子どもの気持ちまで知ることができ、有意義でした。講演、すごく心を動かされました。

・父親からの目線、立ち位置が非常にわかりやすく、自分に置き換えてお話を聞かせていただきました。これからの日常に少しでも生かせるように家に帰ってから妻と話してみようと思います。

・「発達障がいには理解できないということが理解できればたいしたものだ」というお言葉に感銘を受けました。本当にその通りだと思いました。

（10）家族支援講座

発達障がいのある子のきょうだいにスポットをあて、“きょうだい”の思いや“きょうだい”支援について講演を実施する。

対象：保護者・支援者

講師：田中 一史先生（京都市児童福祉センター 児童精神科医）

定員：80名

★実施予定（1回）

内容	日程	会場
きょうだい支援（予定）	1/15	大阪私学会館

【3】保護者向けソーシャルスキル講座

対人関係を円滑にすすめるための具体的行動の身につけ方について、年齢や特性に応じてどのように教えていけばよいのか、家庭での取り組み方法の講演を実施する。

対象：幼児期・学齢期の保護者・支援者

講師：西岡 有香先生（大阪医科薬科大学LDセンター 言語聴覚士 特別支援教育士SV）

定員：各回20名

★実施済（幼児期3回×1クール 学齢期3回×1クール）

区分	内容	日程	会場	参加者数		
				保護者	支援者	計
幼児期	幼児期で身に付けたいソーシャルスキルについて	9/27・10/4・11	大阪市中央公会堂	14	27	41
学齢期 (低学年)	小学校（低学年）で身に付けたいソーシャルスキルについて	11/8・15・22	リンク大阪	57	12	69
計				71	39	110

★SST講座アンケート結果（回収率99%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	82
わかりやすかった	21
難しかった	2
かなり難しかった	0
無回答	4
計	109

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	83
参考になった	21
あまり参考にならなかった	2
全く参考にならなかった	0
無回答	3
計	109

【感想・意見】

- ・子どものタイプ別の解説もあり、大変分かりやすく参考になりました。親の役割を気にしながら、子どもと遊びたいと思いました。
- ・参考になる本やURLの紹介もあり、見て学びたいと思いました。言葉の伝え方、まず自分が子どもにモデルを示すことが大切だと感じました。大変分かりやすく参考になり、家庭でできることを実践していきたいです。
- ・具体性があるってわかりやすかったです。あせらず・できることから取り組んでいきたいと思います。

支援者講座

【1】集合研修

(1) 啓発講座

区の自立支援協議会や連絡会、発達障がいサポーターなどの講座として発達障がいの基礎的な講座等を開催し、発達障がいの理解促進・啓発を行う。

★実施済（1回）

対象	内容	会場	日程	参加者数
市職員（市役所関係）	こども相談センター 教育相談担当	中央区	8/4	22
当事者・保護者・団体等	職業リハビリテーションセンター ジョブコミュニケーション科	平野区	4/20	9
	雇用支援ネットワーク ジョブコーチ養成講座	北区	7/6	39
	大空小学校 ハンドインハンド（保護者会）	住吉区	7/15	10
	セレッソ大阪スポーツクラブ	西成区	8/26	19
	中央区市民協働課	中央区	11/24	28
	此花区民生委員児童員協議会	此花区	11/24	18

(2) 支援者講座

1. 指定障がい福祉事業所向け 基礎講座

発達障がい児・者の支援に必要な基礎知識の講演を実施する。

対象：指定障がい福祉事業所の支援者

講師：エルムおおさか 地域サポートコーチ

定員：各回50名

★実施済（2回）

内容	日程	会場	参加者数
発達障がいの理解と支援	7/8	C I V I 研修センター 新大阪東	91
発達障がいの理解と支援	12/23	WEB開催	71
計			162

★基礎講座アンケート結果（回収率91％）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	103
わかりやすかった	43
難しかった	0
かなり難しかった	0
無回答	3
計	149

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	107
参考になった	40
あまり参考にならなかった	0
全く参考にならなかった	0
無回答	2
計	149

【感想・意見】

・具体的なお話し、エピソードでとてもわかりやすかったです。特性の理解はよくわかった上で、TP0に合わせた行動が取れない時等の対応方法なども、もっと詳しくお聞きしたかったです。

・発達障がいの種類や症状の違いなどを学べて嬉しく勉強になりました。また、わかりやすい説明でとても聞きやすく内容が理解できました。途中のクイズも良かったです。今後、自身の事業所でも発達障がいの方々と関わる時に活かしていきたいと思います。

・先生のお話を聞きながら、実際に施設に通所している児童の様子が頭に浮かび、この子は、こういう特性があって、こういう行動をしていると知ることが出来ました。今後は、先生の対応方法のヒントを元に、この子にはどういう働きかけをしたらいいかを施設職員間で検討し、実践していきたいと思います。

2. 児童発達支援/放課後等デイサービス支援者向け 基礎講座（実践編）

発達障がい児の支援に必要な基礎知識に加え、実践的な内容の講座を実施する。

対象：児童発達支援・放課後等デイサービスの支援者

講師：エルムおおさか 地域サポートコーチ

定員：50名

★実施済（1回）

内容	日程	会場	参加者数
発達障がいの理解と支援 （実践編）	12/9	WEB開催	30

★放デイ向け基礎講座（実践編）アンケート結果（回収率80％）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	17
わかりやすかった	6
難しかった	0
かなり難しかった	0
無回答	1
計	24

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	15
参考になった	9
あまり参考にならなかった	0
全く参考にならなかった	0
無回答	0
計	24

【感想・意見】

- ・分かりやすくとても参考になりました。
- ・たくさんの要因が考えられる中で、実態や出来事の前後関係などを把握やしっかりと正しく理解していくことで子供たちが過ごしやすい環境づくりにつながっていくと感ずることができました。
- ・とても素晴らしい内容でした、自分たちが普段考えて対応していながらも、どこか考えすぎてしまったり、主観的になってしまったりしてしまう事があるかなと思っている所があったので、改めて客観的に考える事が出来ました。

3. 成人支援事業所支援者向け 基礎講座

発達障がい者の支援に必要な基礎知識に加え、実践的な内容の講座を実施する。

対象：成人支援事業所の支援者

講師：エルムおおさか 地域サポートコーチ

定員：50名

★実施済（1回）

内容	日程	会場	参加者数
発達障がいの理解と支援 (実践編)	8/3	大阪産業創造館	32

★放デイ向け基礎講座（実践編）アンケート結果（回収率93%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	21
わかりやすかった	9
難しかった	0
かなり難しかった	0
無回答	0
計	30

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	21
参考になった	9
あまり参考にならなかった	0
全く参考にならなかった	0
無回答	0
計	30

【感想・意見】

- ・出来るようにどうしたらいいか、動画でとてもわかりやすく、ハッとさせられました。出来なくても、NOと言わずに、しっかりと見て、観察すること、勉強になりました。
- ・本人中心の支援のあり方を説明していただき、わかりやすかったと思います。
- ・生活介護に携わる立場なので、作業等を通しての支援について考えることが少なかったです。とても良い勉強になりました。

4. 支援者向け心理的疑似体験プログラム

お子さんが抱える困難と、その困難を持ちながら通常学級で学習する時の子どもの気持を体験し、その理由を考えた上で、どのような指導が役に立つのか、考えていく。

対象：発達障がい児に関わる支援者

講師：西岡 有香先生（大阪医科薬科大学LDセンター 言語聴覚士 特別支援教育士SV）

定員：40名

★実施済（1回）

内容	日程	会場	参加者数
『LD・ADHD等の心理的疑似体験プログラム第3版』で学習時の「聞く・話す・読む・書く」の苦手さを理解しよう	7/12	大阪私学会館	20

★支援者向け疑似体験アンケート結果（回収率100%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	16
わかりやすかった	2
難しかった	0
かなり難しかった	0
無回答	2
計	20

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	17
参考になった	3
あまり参考にならなかった	0
全く参考にならなかった	0
無回答	0
計	20

【感想・意見】

- ・疑似体験して現実抱えている障がいのしんどさを実感できました。あらためて何ができるのかまとめて実践したいと思います。
- ・子どもたちの困難さを体験出来て、今後の子どもたちとの関わりが変わっていく、変えていこうと感じました。日頃の療育の中での不思議が解消されました。
- ・ずっと受けてみたいと思っていた内容で、子供の立場に立って経験することができました。あせらせたり「できてない」「きいてない」という注意が自分に多くあったことを体験することで、実際に感じる事ができました。

5. 支援者向けライフスキル講座

発達障がいのある方やその家族の支援者を対象に、ライフステージに応じて必要とされる社会性の指導方法について講演を実施する。

対象：支援者

講師：伊丹 昌一先生（梅花女子心理こども学部心理学科 教授）

定員：80名

★実施予定（1回）

内容	日程	会場
支援者向けライフスキル講座	1/18	C I V I 研修センター 新大阪東

6. 成人事業所支援者向け セクシャリティ支援

発達障がいのある方の「セクシャリティ支援」「性教育」について研修を実施する。

対象：支援者

講師：平木 真由美先生（京都市立総合支援学校 支援部 NWC）

定員：各回30名

★実施予定（2回）

内容	日程	会場
発達障がいのある方の セクシャリティ支援	2/16AM	大阪私学会館
	2/16PM	

7. 区役所の支援者対象講座

区役所の支援者を対象として、発達障がいのあるお子さんの食に関する課題への支援など、日々の支援に役立つ内容の研修を実施する。

対象：区役所の保健師・心理相談員・保育士・家庭児童相談員

講師：倉澤 茂樹先生（福島県立医科大学 保健科学部作業療法学科 教授）

定員：50名

★実施済（1回）

内容	日程	会場	参加者数
子どもの食に関する課題への支援方法	8/17	大阪私学会館	24

★区役所の支援者対象講座アンケート結果（回収率100%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	19
わかりやすかった	5
難しかった	0
かなり難しかった	0
無回答	0
計	24

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	20
参考になった	4
あまり参考にならなかった	0
全く参考にならなかった	0
無回答	0
計	24

【感想・意見】

・過敏や不器用な子についてのお話も聞くことができ良かったです。偏食に対して、どのように関わるとよいのかということだけでなく、偏食の背景についても、詳しく知ることができました。今後の相談の中で、活用させていただきたいです。

・無理強いせず、フレーバー嗜好学習や、ワンスプーンチャレンジで支援していくことが大切だと学びました。「完食することが良い」と考えがちですが、「いりません」「減らして」と伝えられることも、生きていく上で必要なスキルだと知りました。このようなスキルを子どもたちにも伝えていきたいと思えます。

・発達障がいと感覚は、切っても切り離せないカテゴリーだと思うのですが、今まで学ぶ機会が少なく、支援において大変困っていました。今回のような講座は、大変貴重でありがたかったです。

【2】機関コンサルテーション

（1）出前研修

集合研修を聴講したくても、施設の現場から離れることができないなどの支援者のニーズにあわせて、施設等を訪問し発達障がいに関する研修を実施する。

★実施済（5回）

対象	内容	日程	参加者数
障がい児支援機関（児童発達支援事業所、放課後等デイサービス事業所）	発達障がい基礎講座	12/6	10
青年・成人期支援機関（就労移行支援・就労継続A・B、生活介護、施設入所支援・GH等）	発達障がい基礎講座	7/3	38
		8/2	4
		9/28	11
		11/10	13
計			76

★アンケート結果（回収率93%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	43
わかりやすかった	26
難しかった	2
かなり難しかった	0
無回答	0
計	71

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	50
参考になった	19
あまり参考にならなかった	0
全く参考にならなかった	0
無回答	2
計	71

【感想・意見】

・感覚過敏の方の見え方、聞こえ方を知ることができた。さらにYouTubeでもその映像があるとのことなので、早速みてみようと思う。発達障がいについては以前から、ママ友の間で「どういう事だろう？うちの子は大丈夫なのか？」と話題になるが、あまりしっかり理解出来ていなかった。入職してまだ2カ月なので、今回の研修を最初の1歩として自分でも出来る限り理解できるように学んでいきたいです。

・発達障がいの基礎的な知識を学ぶことができた。

・発達障がいについてあまり知らなかったのですが、色々を知ることができてよかったです。これからもそういう方々とお付き合いがあると思うので、肯定すること、具体的に言うことを念頭において、がんばれたらと思います。

(2) 訪問支援

各事業所等団体に機関支援の一環で訪問し、センターで直接相談のケースではないが支援方針の助言を実施したり、施設運営等の助言を実施する。

★実施済み（延べ86回・39か所）

区分	延べ回数	実訪問か所数
私立保育園	54	25
障がい児通所・入所施設	1	1
教育関係機関		
成人期支援機関	24	7
障がい児・者相談支援機関		
居宅介護事業所		
社会福祉協議会		
区役所（保健福祉含む）	1	1
労働関係機関		
その他	6	6
計	86	40

【3】ティーチャーズ・トレーニング講座

市内の保育所の保育士対象に、発達の特性的なお子さんにフォーカスを当て、グループワークや宿題の実践を通して、より良い保育を目指す連続講座を実施する。

対象：大阪市内の保育所（園）に勤務している年少～年長の担任保育士

定員：8名

★実施済（6回×2クール 計12回）

期間	会場	参加者数
6/16～11/17	たかつガーデン	8
7/1～12/2	たかつガーデン	8

【4】成人支援講座

(1) 成人期支援者スキルアップ事業

①基礎講座

②基礎講座に参加の成人期発達障がい者支援事業所（2021年度は5事業所）をモデルに、年4回の訪問コンサルテーションを含め、ガイダンス・まとめ報告会を行い、スキルアップを目指す。

③公開講座として①の基礎講座に加え、②の事業所に取組内容を実践報告として発表しもらい、参加者に具体的支援手法を学んでもらう。

☆成人期支援者スキルアップ事業の流れ

①成人支援基礎講座

成人期基礎講座として、発達障がい者支援のあり方について講演を行い、基礎的な支援の内容を学ぶ機会を提供する。

<実施事業所の募集と選定>

②ガイダンス

機関コンサルテーションを希望の施設に、ガイダンスを行い、コンサルテーションを実施する意義、受け手と成り手の各々のスタンスについて講義。コンサルタントが施設のニーズを集約・課題点を明確にし、情報共有したうえで第1回訪問までにコンサルタントが助言等を精査する。

初回訪問時に施設内を分析し課題点の整理、次回訪問までに取り組む内容等を助言。2回目の訪問の際は、助言内容実施後の変化の状況を共有。必要に応じて評価セッションを行い、その場でフィードバックを実施し、最終の確認と今後の方向性の整理を行う。

③まとめ報告会

各事業所4回の訪問コンサルテーションを終え、事業所内での取り組み内容や、コンサルテーション実施後の変化について報告。また、実践報告会（1/17予定）での発表に向けて、更に取り組む内容や、これまで実施した取り組み内容についても整理し、支援の方向性について確認する。

④実践報告会：基礎研修＋実践報告

講演と、事業所での実践報告の発表。次年度に関しても別の事業所に対して本事業の実施する方向性を予告し、次年度の希望施設を募る。

(2) 成人期支援者スキルアップ事業の実施状況

①基礎講座

対象：成人支援事業所の支援者

講師：中山 清司先生（特定非営利活動法人 自閉症eサービス代表）

定員：50名

★実施済み（1回）

内容	日程	会場	参加者数		
			本人 家族等	支援者	計
自閉スペクトラム症支援の 基礎知識	6/14	大阪私学会館		77	77

★アンケート結果（回収率93%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	42
わかりやすかった	26
難しかった	0
かなり難しかった	0
無回答	4
計	72

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	39
参考になった	32
あまり参考にならなかった	0
全く参考にならなかった	0
無回答	1
計	72

【感想・意見】

- ・自閉症の基礎から関わり方、また自閉症の人たちの視点等、大変勉強になりました。
- ・自閉症について、物の見え方や考え方を初めて知って、自分がどういう風にかかわったらよいか考えさせられた。今まで言葉での指示が多かったので、ジェスチャーや視覚的にわかる指示を増やそうと思う。自閉症と言っても一人一人違うので、向き合いながら自分にできることを考えたい。
- ・ビデオによる実際の映像がとてもわかりやすくなった。発達障害の勉強会はいくつか出席したが、理論ばかりではなく具体的な方法などわかりとても勉強になった。

②ガイダンス

★実施済（1回）

内容	日程	会場	参加者数
コンサルテーションの意義等	7/5	リハビリテーションセンター 第1会議室	12

③まとめ報告会

★実施予定（1回）

内容	日程	会場
取組内容の整理 支援の方向性など	1/17	リハビリテーションセンター 第1会議室

【スキルアップの実施状況】

事業所	施設種別	対象者の概要・課題点
①	就労継続支援A型	56歳女性 ADHD 精神障がい者保健福祉手帳3級 気になる行動への対応、コミュニケーション支援の具体的助言 活動内容、施設の環境調整、行事への参加の手立て
②	生活介護	32歳男性 自閉症傾向 療育手帳A 気になる行動への対応
③	生活介護	21歳男性 広汎性発達障がい 療育手帳A 気になる行動への対応 コミュニケーション支援の具体的助言
④	生活介護	19歳男性 自閉症 療育手帳A コミュニケーション支援の具体的助言
⑤	生活介護	28歳男性 自閉症傾向 療育手帳A 気になる行動への対応

④実践報告会（基礎講座＋実践報告）

基礎講座は、自閉症の問題行動に視点を当て、氷山モデル・客観的評価の重要性など自閉症支援に必要とされる支援の着眼点を講義形式で実施予定。

実践報告会は、5事業所より4回のコンサル訪問の経過ならびに、利用者の問題行動がどのように変化したかに視点を向け参加事業所より報告する。担当コンサルタントより講評や助言をもらい、総括として講師より自閉症支援に対して構造化や評価の重要性を提言してもらう予定。

対象：成人支援事業所の支援者

講師：中山 清司先生（特定非営利活動法人 自閉症eサービス代表）

定員：50名

★実施予定（1回）

内容	日程	会場
問題行動の理解と 求められる支援	3/6	大阪私学会館